



平成 19 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル
 代表者名 代表取締役社長 大石 侑弘
 (コード番号 6755 東証・大証・名証各市場第一部)
 問合せ先 取締役法務部長 篠原 俊次
 TEL (044) - 861 - 7627

通期業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 10 月 25 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 10 月 25 日発表)	191,000	6,000	4,300	2,400
今 回 修 正 予 想 (B)	191,000	3,600	2,900	1,200
増 減 額 (B - A)	-	2,400	1,400	1,200
増 減 率 (%)	-	40.0	32.6	50.0
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	179,908	7,133	5,495	3,767

2. 19 年 3 月期業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 10 月 25 日発表)	159,000	3,300	1,700	900
今 回 修 正 予 想 (B)	159,000	1,800	1,200	400
増 減 額 (B - A)	-	1,500	500	500
増 減 率 (%)	-	45.5	29.4	55.6
(ご参考) 前期 (平成 18 年 3 月期) 実績	153,675	3,477	2,522	2,130

3. 修正の理由

当期の連結業績につきましては、売上高は前回予想どおり進捗しておりますが、損益面において、急激なタイのパーツ高による収入減、部材高騰の沈静化が期初の想定より遅れていることによる影響などから、営業利益は 36 億円（前回予想 60 億円）、経常利益は 29 億円（同 43 億円）また、冷蔵庫の製品補償費用を特別損失として計上し、当期純利益は 12 億円（同 24 億円）となる見込みです。

なお、主力の国内向け・海外向けエアコンの拡販は順調に推移しており、プラズマディスプレイの売上減少等を補っているほか、コストダウン及び経費削減等の経営効率化は計画以上に進んでおり、これらの効果は来期以降も業績の底上げ要因となります。

また、当期の単独業績につきましては、売上高は 1,590 億円（前回予想 1,590 億円）、営業利益 18 億円（同 33 億円）、経常利益 12 億円（同 17 億円）また、冷蔵庫の製品補償費用を特別損失として計上し、当期純利益は 4 億円（同 9 億円）となる見込みです。

以 上